

No. 1

近畿地方整備局
事業評価監視委員会
(平成15年度第2回)

事業評価対象事業の位置図及び一覧表

平成15年8月5日

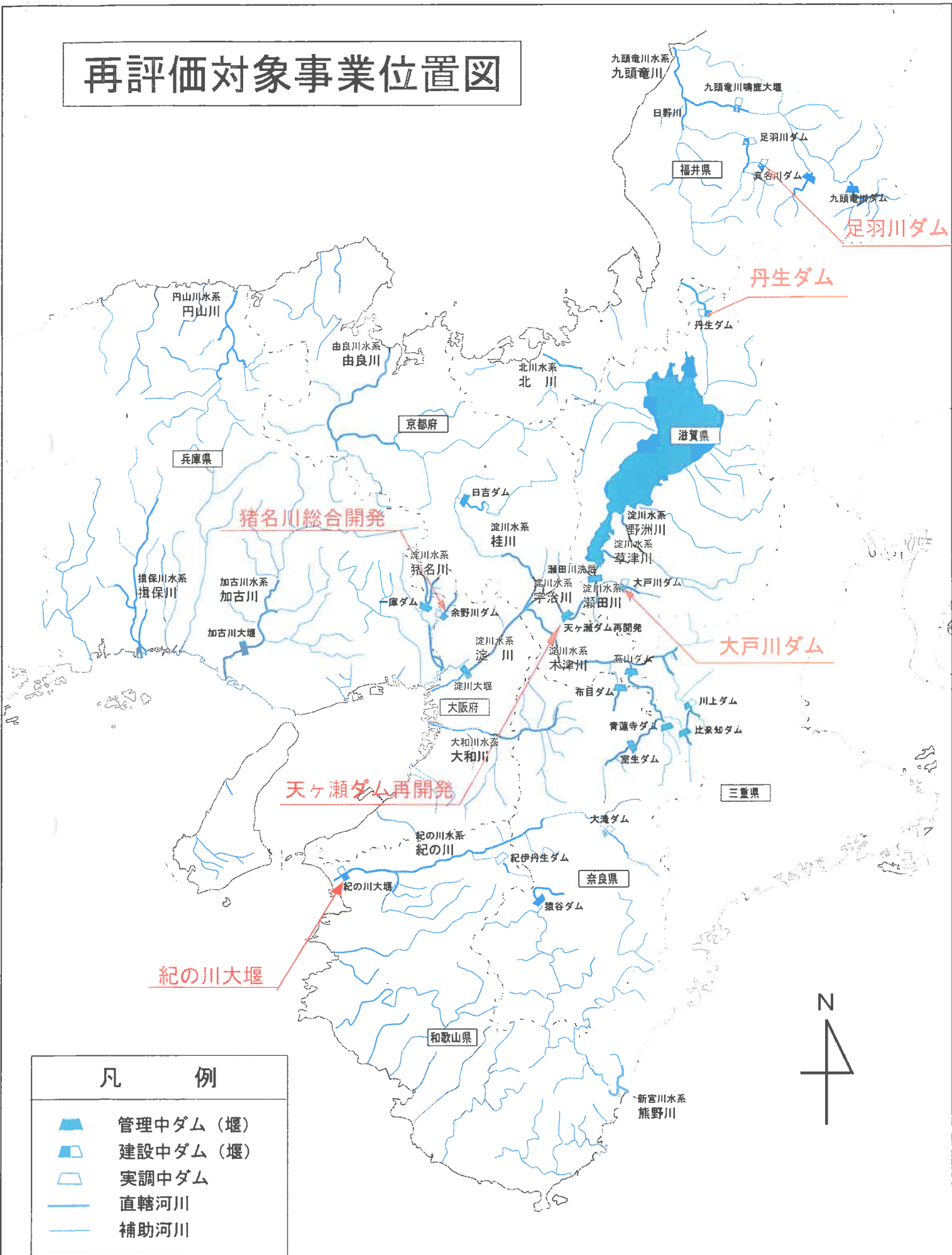
国土交通省 近畿地方整備局

平成15年度第2回 事業評価対象事業一覧表

(再評価)

No.	事業種名	事業名	採択年度 (前回評価年度)	該当基準
1	ダム事業	天ヶ瀬ダム再開発事業	H1 (H10評価)	再評価後5年
2	ダム事業	丹生ダム建設事業	S63 (H10評価)	再評価後5年
3	ダム事業	大戸川ダム建設事業	H1 (H10評価)	再評価後5年
4	ダム事業	猪名川総合開発事業	S58 (H10評価)	再評価後5年
5	ダム事業	足羽川ダム建設事業	H6	10年継続中
6	ダム事業	紀の川大堰建設事業	S62 (H10評価)	再評価後5年

再評価対象事業位置図



凡 例

	管理中ダム (堰)
	建設中ダム (堰)
	実調中ダム
	直轄河川
	補助河川

再評価対象事業一覧表

事業名等	事業の目的・内容・規模	事業の進捗状況	社会経済情勢	環境	費用対効果	備考
<p>淀川水系 宇治川 天ヶ瀬ダム再開 発電事業</p>	<p>①事業目的 治水 ・水運用水の確保 京都府 0.600m³/s ・発電</p> <p>②事業内容 ・トンネル式放流設備</p> <p>③事業特性 ・琵琶湖国定公園及び風致地区内である。</p> <p>④事業規模(見直し前) 延長 600m ・海流部直径 11.3m ・減勢部高 25.0m ・減勢部幅 18.0m ・放流設備 ラジアルゲート H5.3×B3.6m×2門 ジェットフローゲート φ0.9m×2</p>	<p>①進捗状況 ・平成10年3月 工事用道路として、市道菟道志津川線の 拡幅工事に着手。 工事用道路の進捗率は全体計画2,564m の内、平成14年度末進捗率39.3%。</p> <p>②予備調査着手 昭和50年度 ③建設事業着手 平成元年度 ④用地補償 - ⑤本体工事着手 - ⑥既設投資額 ・約57億円(H14年度末まで)</p>	<p>社会経済情勢</p> <p>①洪水被害(実績) ・昭和28年9月(台風13号) 浸水面積 5,060ha 浸水戸数 2,555戸 農地浸水面積2,180ha(巨椋池)</p> <p>②洪水被害(実績) ・昭和40年9月(台風24号) 浸水面積 730ha 浸水戸数 785戸</p> <p>③濁水被害(実績) ・平成6年8月～10月(淀川水系) 豊中市等32市7町1村、宇治市等3市1町 取水制限 上水最大20% 但し、琵琶湖周辺はこの半分 の制限率(42日間)</p> <p>④利水事業 ・京都府水道用水供給事業 暫定放水水利権0.6m³/s許可 (平成9年7月より)</p>	<p>環境</p> <p>・既存ダム下流において、特別天然記念物のオオササギウオウオが繁殖して生息の記録はあるが現地調査では確認されていない。</p> <p>・既存ダム下流において、環境省レッドリスト絶滅危惧1A類のアカセコカワニナが生息しており、工事用道路工事が生息域に影響したため移植を実施。</p>	<p>費用対効果 事業規模未確定のため未算出</p>	

※ダム計画については計画見直し中の為、事業規模は未定

再評価対象事業一覧表

事業名等	事業の目的・内容・規模	事業の進捗状況	社会経済情勢	環境	費用対効果	備考
淀川水系 舟生ダム建設事業	<p>①事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> 治水 流水の正常な機能の維持（異常洪水時の緊急水の補給含む） 水道用水の供給 <p>大阪府 2,474m³/s 京都府 0,600m³/s 阪神水道企業団 0,556m³/s</p> <p>②事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ロックアップダム築造 <p>③事業特性</p> <ul style="list-style-type: none"> 県下有数の要害地帯 異常洪水時の緊急水の補給 急峻な地形 <p>④事業規模（見直し前）</p> <ul style="list-style-type: none"> ダム高 145m 堤頂長 474m 総貯水容量 150,000千m³ 流域面積 93.1km² 湛水面積 3.5km² 総事業費 1,100億円（昭和63年度面格） 	<p>①進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成10年12月 事業評価監視委員会審議「継続」の対応方針（案）を承認 平成13年9月 事業実施方針変更の指示（工期変更） 平成15年5月 淀川水系流域委員会へ「調査・検討」を表明 <p>②美施計画調査開始 昭和55年度</p> <p>③建設事業着手 昭和63年度</p> <p>④用地補償基準妥結 平成5年度</p> <p>⑤工事用地設置着手 平成6年度</p> <p>⑥完成予定 平成22年度</p> <p>⑦既設投資額 497.0億円（45.2%）（平成14年度末まで）</p> <p>⑧用地進捗率 88%（平成15年4月現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> 水没住民移転・家屋撤去完了 貯水池予定地用地取得率 88%（国有林以外の買取完了） 	<p>①洪水被害（実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> 昭和50年8月（台風6号）浸水戸数 39戸 平成10年9月（台風7号）浸水戸数 4戸 <p>②洪水被害（想定）</p> <ul style="list-style-type: none"> 滋賀県の長浜市等1市7町に影響 想定氾濫面積 約57km² <p>③治水被害（実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成15年1月（琵琶湖）淀川中下流域 10% 琵琶湖周辺 5% <p>④治水被害（想定）</p> <ul style="list-style-type: none"> 影響人口約1,300万人 住民基本台帳人口要覧（平成14年度版）より <p>⑤土地利用</p> <ul style="list-style-type: none"> 中下流域に緩急地帯広がる 近畿、東海と北陸を結ぶ交通の要衝 <p>⑥水需給</p> <ul style="list-style-type: none"> 暫定水利権による取水 <p>⑦関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 関西文化学術研究都市整備中 <p>⑧地元</p> <ul style="list-style-type: none"> 協力的で地域活性化に期待 高槻川治水対策促進協議会による推進要望あり 	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 流域周辺で希少猛禽類の飛翔を確認。 	<p>費用対効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業規模未確定のため未算出 	

再評価対象事業一覧表

事業名等	事業の目的・内容・規模	事業の進捗状況	社会経済情勢	環境	費用対効果	備考
<p>淀川水系 大戸川ダム 建設事業</p>	<p>①事業目的 ・治水 ・流水の正常な機能の維持 ・水道用水の確保 大戸川 0.4m³/s 大塚府 0.1m³/s 京都府 0.0116m³/s 大津市 ・発電 ②事業内容 ・重力式コンクリートダム築造 ③事業特性 ・ダム建設予定地域は、三上、田上、信楽県立自然公園 ④事業規模(見直し前) ・ダム高 92.5m ・堤頂長 335m ・総貯水容量 33,800千m³ ・蒸発面積 153.5km² ・湛水面積 1.3km² ・総事業費 740億円 ※昭和63年度面格(平成10年度総点検公表値)</p>	<p>①進捗状況 ・平成2年 基本計画告示 ・平成2年 送電事業網に準じた環境アセスメント実施 ・平成9年 大鳥居地区水没家屋55戸移転完了 ・平成13年度「水源地域整備計画」が決定される ②予備調査開始 昭和43年度 ③実施計画調査開始 昭和53年度 ④建設事業着手 平成元年年度 ⑤用地補償標準妥結調印 平成6年度 ⑥付替県道着手 平成11年度 ⑦既設投資額 ・約520億円(H14年度末まで) ⑧用地進捗率 68% ⑨本林工事着手 —</p>	<p>①洪水被害(豪雨) ・昭和28年9月(台風19号) 大戸川筋 京都市・大阪府 浸水面積 5,060ha 浸水戸数 2,555戸 農地浸水面積 2,180ha(巨椋池) その他公共施設災害等有り ・昭和34年8月(台風7号) 宇治川、淀川本川の各所で漏水 ・昭和36年10月(台風26号) 淀川本川筋で漏水、堤防洗風 ・昭和40年9月(台風24号) 山科川合流点及び巨椋池溢水 浸水戸数 765戸 ・昭和57年9月(台風10号) 浸水面積 730ha 大戸川筋 橋梁1橋 落橋、堤防欠壊 淀川本川、宇治川各所で漏水、堤防洗風 ③漏水被害(豪雨) ・昭和52年8月(淀川) 取水制限 上水10%、工水15% ・昭和53年9月(淀川) 取水制限 上水10%、工水15% ・昭和59年10月(淀川) 取水制限 上水20%、工水22% ・昭和61年10月(淀川) 取水制限 上水20%、工水22% ・平成6年8月(淀川) 取水制限 上水20%、工水20% ・平成14年9月(淀川) 取水制限 上水10%、工水10%</p>	<p>④土地利用 ・下流域に下記の都市 大津市 人口288,240人 京都市 人口1,487,785人 大阪市 人口2,598,774人 ※2000年国勢調査より ⑤関連事業 ・大阪府水道第7次拡張事業 ・京都市水道用水供給事業 ・大津市水道第8次拡張事業</p>	<p>費用対効果 事業規模未確定のため未算出</p>	<p>至急願のハチクマ、オオタカ、サンバは、事業実施区域及びその周辺で繁殖している可能性が考えられるため、今後も調査を継続。</p>

再評価対象事業一覧表

事業名等	事業の目的・内容・規模	事業の進捗状況	社会経済情勢	環境	費用対効果	備考
<p>淀川水系 余野川 猪名川総合開発 事業(余野川ダ ム)</p>	<p>①事業目的 ・治水 ・流水の正常な機能の維持 ・水道用水の確保 ：阪神水道企業団 箕面市 1.042m³/s 0.116m³/s</p> <p>②事業内容 ・重力式コンクリートダム築造</p> <p>③事業特性 ・ダム建設予定地は、ダム湖周辺に大阪府「水と緑の健康都市」は地区面整理事業が行われており、一体となった整備を図る。</p> <p>④事業規模(見直し前) ・ダム高 79m ・堤頂長 420m ・総貯水容量 17,600千m³ ・流域面積 27.8km² ・湛水面積 0.7km² ・湛水面積 500億円 ※昭和57年度面格(平成11年度総点検公表値)</p> <p>※ダム計画については計画見直し中の為、事業規模は未定</p>	<p>①進捗状況 ・平成3年8月 「猪名川総合開発事業に関する基本計画」 ・平成4年1月 基本計画の変更告示 ・平成13年9月 基本計画の第2回変更告示</p> <p>②予備調査開始 昭和43年度</p> <p>③実施計画調査開始 昭和55年度</p> <p>④建設事業に着手 昭和58年度</p> <p>⑤用地補償基準妥結 平成7年度</p> <p>⑥本体工事着手 -</p> <p>⑦既設投資額 ・約366億円(H14年度末まで)</p> <p>⑧用地進捗率 約99%(H14年度末まで)</p>	<p>①洪水被害(実績) ・昭和58年9月(10号台風) 家屋の被害(半壊・浸水戸数) 3,235戸</p> <p>②洪水被害(想定) ・余野川、猪名川沿川 5市に影響 浸水面積 約4千ha</p> <p>③浸水被害(実績) ・平成14年12月(猪名川) 取水制限 浸水40% 上水40%</p> <p>④浸水被害(想定) ・5市2町 111万人に影響 (川西市・池田市・伊丹市・豊中市・宝塚市・豊船町・猪名川町)</p> <p>⑤土地利用 ・余野川及び猪名川下流域には6市(6市人口:約143万人) ※自治体ホームページより</p> <p>⑥水需給 ・余野川ダムの利水者である箕面市が撤退の意思を表明</p> <p>⑦関連事業 ・阪神水道企業団 第5期拡張事業 ・大阪府「水と緑の健康都市」地区面整理事業</p> <p>⑧地元 ・ダム事業と大阪府土地区面整理事業と一体となった整備を要望。</p>	<p>・大阪府土地区面整理事業区域内(ダム湖周辺地)に絶滅危惧Ⅱ類のオオタカが営巣。 また、ダム事業地内においては、絶滅危惧Ⅱ類の(馬頭)サンショウウガイ、(両生類)タルマガエル、(昆虫類)クワンハイトンボ、ツマグロキアザユ、クロヒカガモドキ、(植物)オオヒキヨモギ、エビネ、キンランが生息。</p>	<p>費用対効果 事業規模未確定のため 未算出</p>	

再評価対象事業一覧表

事業名等	事業の目的・内容・規模	事業の進捗状況	社会経済情勢	環境	費用対効果	備考
<p>九頭竜川水系 足羽川ダム 建設事業</p>	<p>①事業目的 ・治水 ・流水の正常な機能の維持 ・水道用水の確保 当初：福井県工業用水 0.289m³/s 福井県工業用水 0.579m³/s 変更後：福井県・福井市 新規利水不参加 発電</p> <p>②事業内容 ・重力式コンクリートダム築造</p> <p>③事業特性</p> <p>④事業規模(旧ダム) ・ダム高 約80m ・総頂長 約420m ・総貯水容量 71,800千m³ ・流域面積 240km² ・灌水面積 2.9km² ・総事業費 1,280億円 ※平成5年度価格</p> <p>⑤事業規模の変更(新ダム) ※ダムサイト位置の変更 (ダム本体+運水施設) ・築水面積 105km² ・総貯水容量 7200万m³ ・ダム高 約130m ・運水トンネル築水面積 105km⁵ ・延べ延長 約11km ・トンネル系 約5~17m</p> <p>※ダム計画については計画未確定の為、事業規模は未定</p>	<p>①進捗状況 ・平成9年9月 足羽川ダム建設事業審議委員会答申 【答申の概要】 足羽川ダムは治水・利水・環境の観点から必要である。 現ダム計画は大きな犠牲を払い、地元同意を得ることは困難な状況から、水没被害が恒力かなくなるよう事業者は最善の努力をすべき。 平成11年11月 現ダムと比較できる代替候補案の机上検討結果を公表 平成14年1月 県から「足羽川ダムに係る水需要計画」の回答不参加</p> <p>・平成14年5月 「九頭竜川流域委員会」が設立。 平成14年7月 獅子川のダム計画を足羽川ダム計画として提案していくと公表。</p> <p>②予備調査開始 昭和42年度 ③実施計画調査開始 昭和58年度 ④用地補償基準妥結 - ⑤本体工事着手 - ⑥既設設備額 ・約78億円(H14年度末まで) ⑦用地進捗率 -</p>	<p>①洪水被害(実績) ・昭和28年9月(台風13号) 浸水戸数 12,349戸</p> <p>②洪水被害(推定) ・足羽川沿川の福井市他7町に影響 浸水面積 約10千ha</p> <p>③治水被害(実績) ・平成6年8月及び平成8年8月・平成13年8月と足羽川流域の農業用水取水規制が頻発している。 ・灌漑区間の発生</p> <p>④治水被害(推定) ・治水用上による農作物への被害(九頭竜川・日野川)</p> <p>⑤土地利用 ・下流域には福井市(福井市人口:約26万人) ※H10全国市町村要覧より</p> <p>⑥水供給 ・足羽川ダムからの水需要計画を変更 福井県・福井市 新規利水不参加</p> <p>⑦関連事業 -</p>	<p>・事業実施区域内において至急類(クマタカ)の営業を確立している他、ニホンカモシカやサルノシエド本などの貴重種を確認。</p>	<p>事業規模未確定のため未算出</p>	

再評価対象事業一覧表

事業名等	事業の目的・内容・規模	事業の進捗状況	社会経済情勢	環境	費用対効果	備考
<p>紀の川水系 紀の川大堰建設 事業</p>	<p>①事業目的 ・治水 ・流水の正常な機能の維持 ・水道用水 0.29m³/s 大阪府 ②事業内容 ・紀の川大堰の建設 ③事業特性 ・紀の川大堰建設事業区域内には、鳥類・魚類の 貴重種が確認されている。 ④事業規模(当初) ・総延長 542m ・集水面積 1,820km² ・湛水面積 2,05km² ・総貯水容量 5,100千m³ ・有効貯水容量 3,800千m³ ・総事業費 700億円 ※昭和61年度面価格 ⑤事業規模の変更 ※漁業補償妥協の確航による工事着手の遅延 地下水対策の対応による工期遅延及び補償対策 の施工計画見直しによる工期の延期等により、工 期及び事業費の変更 ・総延長 542m ・集水面積 1,820km² ・湛水面積 2,05km² ・総貯水容量 5,100千m³ ・有効貯水容量 3,800千m³ ・総事業費 1,110億円 ※平成10年度面価格</p>	<p>①進捗状況 ・平成13年9月 基本計画(変更)告示 ・平成15年3月 本體工事完成 ・平成15年6月 仮設湛水開始 ②予備調査開始 昭和46年度 ③実施計画調査開始 昭和53年度 ④建設事業着手 昭和62年度 ⑤漁業補償合意 平成 3年度 ⑥本體工事着手 平成 4年度 ⑦既設投資額 ・約767億円(H14年度末まで)</p>	<p>①洪水被害(実績) ・平成12年9月(梅雨前線) 床下浸水 955戸 床上浸水 50戸 ②洪水被害(想定) ・紀の川沿川の和歌山市に影響 湛水面積 約4千ha ③洪水被害(実績) ・平成13年8月(紀の川) 取水制限 湛水 30% 上工水20% ④治水被害(想定) ・和歌山市、海南市及び大阪府南部地域 に影響 ⑤土地利用 ・下流域には和歌山市 (和歌山市人口:383,569人) ※H15和歌山県統計年鑑より ⑥関連事業 ・大阪府治水道第7次拡張事業</p>	<p>環境 ・大堰事業区間における湛水区域内及び干 涸には、マガシ、ツシガモ等の鳥類、イナ モシタナゴ、エトハゼ等の魚類が貴重種と して確認されている。</p>	<p>費用対効果 B/C=25</p>	